



あぐりの学校

やってみよう！企画会議 01

第10期あぐりの学校スタート！21名が参加し賑やかな会となりました。

あぐりの学校とは

やりたいこと「できること」を持ち寄り、自分たちが楽しみながらあぐりの丘で活動することで一緒にあぐりの丘を賑やかにしていく取り組みです。この取り組みは普段からみなさんが取り組んでいる活動や、あぐりの丘でやってみよう！を実現する機会であり、同じ思いを持つ参加者が交流できる機会でもあります。たくさんの仲間と共に楽しいあぐりの丘をつくっていきましょう！

第1回あぐりの学校

日時 2020年1月18日(土)

場所 体験館 A

参加者 21名

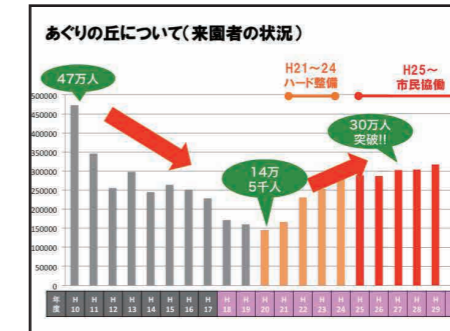
プログラム

- オリエンテーション
 - あぐりの丘を知ろう
 - 自己紹介
 - あぐりの市民活動をする
- 企画会議
 - 開会・あいさつ
 - あぐりの学校とは
 - 自己紹介
 - やってみよう！を振り返る
 - 企画検討



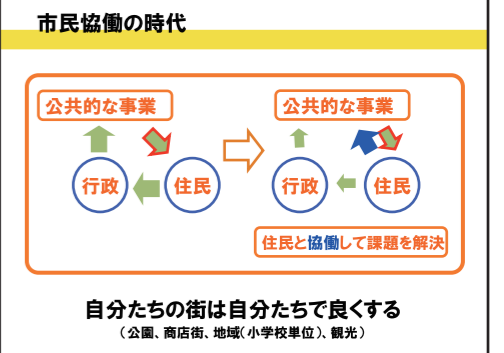
オリエンテーション：あぐりの丘とは

あぐりの丘は、「市民参加で創る人と自然のつながりを思い出し体感する場」「食農教育」という2つのコンセプトを掲げています。一度、約14万5千人までに減少した来園者も、遊具等の整備や、あぐりの学校(H25年～)の取り組みもあり、現在は約32万人まで増加しています。来園者の数は増えてきましたが、来園者の属性が偏っていたり、未活用の土地が多くあるなど課題も残っています。



オリエンテーション：市民参加の時代

人口減少時代ではこれまでの行なっていた行政サービスが行き届かなくなり、住民自身が自分の住んでいるまちのことを考えたり、自分たちが使う公園を自分たちでよくしていくという価値観が必要となってきます。あぐりの学校のプロジェクトも自分たちがやりたい！という思うプログラムを実施することで、結果的にその活動があぐりの丘の新しい魅力を作り出せたらと考えています。



あぐりの学校の進め方

あぐりの学校では、広大なフィールドを活用してやってみよう！を考え、仲間をつくりながら企画を練っていき、最後は考えた企画をお客さんに向けてお披露目します。今回の学校では、卒業生も参加していますので、新入生ははじめてやってみよう！という企画を、卒業生は今の活動をブラッシュアップしたり、今年度取り組む継続的な企画を考える場にしたいと思えます。



自己紹介

自己紹介と共に、あぐりの丘で今取り組んでいることや、これから取り組みたいことを共有しました。



前回のあぐりの丘でやってみよう！の振り返り

前回のあぐりの丘でやってみよう！の振り返り会の時の会議録を皆さんと振り返りました。前回の振り返りを活かし、今回も部会制や飲食テナントの受け入れは継続して行うことになりました。

前回のやってみよう！の振り返りのまとめ

- ・過去最高の来園者となり、活動が定着してきた。
- ・里山の活用をさらに進めていく。
- ・活動者同士で今後についてゆるく話し合う場をもつ。
- ・部会をつくることで準備や活動の質が上がった。部会制は継続したい。
- ・飲食テナントの設置もうまくいった。これも継続したい。
→やってみよう！を自分達流にアレンジできた。

開催日決め

帆船まつりなどの他のイベントの日程も考慮しながら、やってみよう！開催日程をみなさんと話し合って決めました。

第14回あぐりの丘でやってみよう！は、

2020年4月19日(日) 開催決定！！

テーマの検討

日程の次は、今回のやってみよう！全体のテーマを出し合いました。

- ・「あぐりで憩う さあ行こう 自然と1チーム」
- ・「あぐりんピック2020」
- ・「美味しいこと、楽しいこと」
- ・発見！？あぐりの丘
- ・5感を使ったあぐり

テーマ案



部会の検討

部会を検討し、今回は「ひろめる部」「かざり部」「サポート部（おたすけ部）」の3つとなりました。

部会	前回の取り組み	メンバー
ひろめる部	イベントサブタイトル作成 招待状作成 ハッシュタグの作成	次回決めます！
かざり部	看板の作成 ガーランドの設置 のぼりの作成	
サポート部	(今回から)	

フィールドワーク

会議終了後に先輩活動者の案内の元、フィールドワークを行いました。(希望者のみ) 活用のイメージを膨らませました。



●今後のスケジュール

第1回	1月18日(土)	10:30～
第2回	2月9日(日)	10:30～
第3回	3月1日(日)	10:30～
第4回	3月22日(日)	10:30～
第5回	4月19日(日)	やってみよう！
第6回	5月9日(土)	10:30～

●問い合わせなど

あぐりの丘市民活動事務局
tel: 095-841-1911
担当: 山口